

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-207490

(43)Date of publication of application : 13.08.1996

(51)Int.Cl.

B43K 23/04

(21)Application number : 07-301900

(71)Applicant : UEDA TOMOHIRO

(22)Date of filing : 12.10.1995

(72)Inventor : UEDA TOMOHIRO

(30)Priority

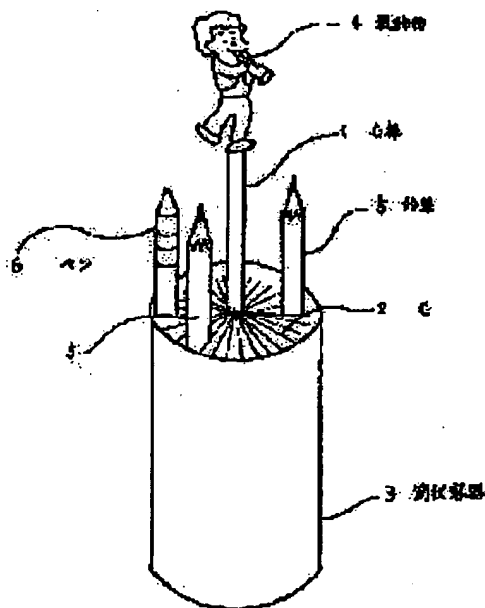
Priority number : 06287066 Priority date : 13.10.1994 Priority country : JP

(54) PEN STAND

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a pen stand which can receive and fix pencils, pens, writing brushes, etc., so that they are prevented from contacting, crossing, moving in a container and can be handled easily.

CONSTITUTION: A thing having a necessary amount of fur 1 is placed and set vertically in a cylindrical container 3. A thing having a necessary amount of fur in necessary ranges on one side or on both side of flat articles is placed and set vertically in a three-dimensional container. A necessary amount of fur 1 is set in a necessary range in one wall surface inside a three-dimensional container.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-207490

(43) 公開日 平成8年(1996)8月13日

(51) Int. CL.	識別記号	庁内整理番号	P I	技術表示箇所
B 4 3 K 23/04	U			
	C			
	K			
	N			

審査請求 未請求 請求項の数 8 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平7-301900
 (22) 出願日 平成7年(1995)10月12日
 (31) 優先権主張番号 特願平6-287088
 (32) 優先日 平6(1994)10月13日
 (33) 優先権主張国 日本 (J P)

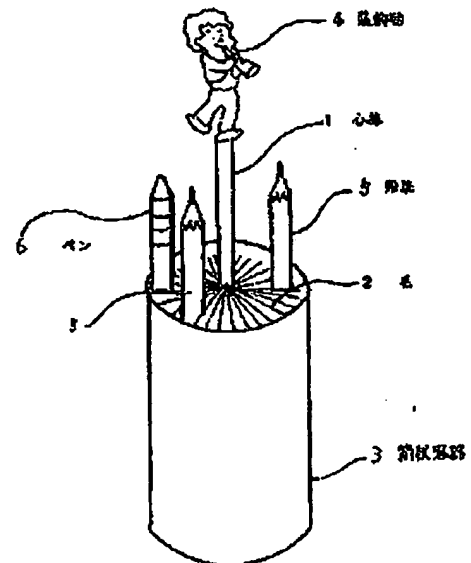
(71) 出願人 594064283
 上田 智博
 兵庫県三原市南淡町賀集堀井1番地4
 (72) 発明者 上田 智博
 兵庫県三原市南淡町賀集堀井1番地4

(54) 【発明の名称】 ペンスタンド

(57) 【要約】

【課題】 鉛筆、ペン、筆等が、容器内で接したり、交差したり、移動したりしないように固定収納でき、出し入れが容易なペンスタンドの提供。

【解決手段】 心棒の周り上下所要範囲に、所要量の毛を設けた物を、筒状容器の中に縦に入れて装着する。平板な物体の片面ないし両面の所要範囲に、所要量の毛を設けた物を、立体的な容器の中に縦に入れて装着する。立体的な容器の内側一方端面所要範囲に、所要量の毛を設ける等の特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】心棒の上下所要範囲に、放射状に所要量の毛を設けた物を、筒状容器の中に、縦に入れて装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項2】任意形状の平板な物体の片面所要範囲に、所要量の毛を設けた物を、任意形状な立体的容器の室の中に、縦に入れて装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項3】略方形の平板な物体の片面所要範囲に、扇型の目状に縦横所要範囲をもって規則正しく錯えて所要量の毛を植毛した物を、任意形状な立体的容器の室の中に、該室の一方の内壁面に、前記植毛した毛先部分を沿わせて縦に入れ、装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項4】略方形の平板な物体の片面所要範囲に、縦横所要範囲をもって上下を横に交互にずらす千鳥植毛法にて所要量の毛を植毛した物を、任意形状な立体的容器の室の中に、該室の一方の内壁面に、前記植毛した毛先部分を沿わせて縦に入れ、装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項5】任意形状の平板な物体の両面所要範囲に、所要量の毛を設けた物を、任意形状な立体的容器の室の中に、縦に入れて装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項6】略方形の平板な物体の両面所要範囲に、扇型の目状に縦横所要範囲をもって規則正しく錯えて所要量の毛を植毛した物を、任意形状な立体的容器の室の中に、該室の対向する内壁の二面に、前記植毛した両面の毛先部分を沿わせて縦に入れ、装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項7】略方形の平板な物体の両面所要範囲に、縦横所要範囲をもって上下を横に交互にずらす千鳥植毛法にて、所要量の毛を植毛した物を、任意形状な立体的容器の室の中に、該室の対向する内壁の二面に、前記植毛した両面の毛先部分を沿わせて縦に入れ、装着したことを特徴とするペンスタンド。

【請求項8】任意形状な立体的容器の内側一方壁面所要範囲に、所要量の毛を設けたことを特徴とするペンスタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、鉛筆、ペン、筆等が、容器内で接したり、交差したり、移動したりしないようにした、出し入れ容易なペンスタンドに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、中空の立体的な容器の直立で、筆筒、ペンスタンドと言ったものがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠

(2)

特開平8-207490

2

点があった。

(イ)容器内に、なんら遮るもの、支えるものがないので、鉛筆、ペン、筆等が交差または接し、雑然としていて、出し入れに不便であった。

(ロ)容器に入れた鉛筆、ペン、筆等は、倒れた状態で容器に支えられておりますので、もし、容器が低い場合は、倒れた角度が大きくなるために、ある程度の高さが必要であった。そのため、短い鉛筆を入れますと、容器の中に隠れてしまい使うことができなかった。

10 (ハ)鉛筆、ペン、筆等の出し入れの度に、容器内の他の品も動き、移動していた。

(ニ)図写、書道用の筆の穂が、他の筆に接して汚すことがあった。

(ホ)机上のみで使われるものであった。

本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】心棒の上下所要範囲に、所要量の毛を放射状に設けたブラシ状の物を、筒状容器の中に、縦に入れて装着する。

20

【0005】平板な物体の片面所要範囲に、所要量の毛を設けた片面ブラシ状の物を、任意形状な立体的容器の室の中に、縦に入れて装着する。

【0006】平板な物体の両面所要範囲に、所要量の毛を設けた両面ブラシ状の物を、任意形状な立体的容器の室の中に、縦に入れて装着する。

【0007】任意形状な立体的容器の内側一方壁面所要範囲に、所要量の毛を設ける。

【0008】

30

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明すると、図1は、請求項1の使用状態を示す斜視図で、図2は、その分解斜視図である。複数の針金を心棒1とし、その針金の上下所要範囲に、十文字に交差するように、所要量の毛2をはさみ、針金の上下を反対方向に捻ると、毛2は、放射状に心棒1の周りに広がり、通突掃除用のブラシのように、毛2を設けることができる。これを立体的な筒状容器3の中に、心棒1を縦にして入れ装着する。毛2の長さは、前記筒状容器3の内壁に、毛先が沿うようにし、鉛筆、ペン、筆等の収納および出し入れに良い長さとする。心棒1の上部に、具象体、抽象体をとらず、好意のもてる任意の装飾物4を設けることもできる。以上のように、筒状容器3内には毛が通るように横になっているので、その中に、鉛筆5、ペン6等を挿入すると、毛2と毛2の間に挟まれて固定収納される。そして、毛2と毛2が挟み出そうとする力と、下へ押し曲げられた毛2が、跳ね返そうとする力によって、鉛筆5、ペン6等が前に押しやられ、容器内の回りに、間隔をもって一列に立って並び、出し入れが容易になった。また、挿入した鉛筆、ペン等が、まっすぐ立つことで、従来のような容器の高さ

40

50

(3)

特開平8-207490

3

は必要なく、低くなり、短い鉛筆を入れて使うことが出来るようになった。

【0009】まず、請求項2. 3. 4. 5. 6. 7. 8の平板な物体、又は、容器の内側一方壁面への毛の設け方について説明する。どちらも同じなので、平板な物体の図面にて説明する。図3は、植毛法の一実施例で、平板な物体7に、鉛筆、ペン、筆等の太さに合わせて、落盤の目状に縦横に所要間隔をもって規則正しく揃えて植毛する位置8を示した片面図である。この植毛法を利用すると、挿入した鉛筆、ペン、筆等が、まっすぐ、そして等間隔にきれいに立て並び、ペンスタンドにはベストの植毛法である。図4は、植毛法の一実施例で、平板な物体7に、縦横に所要間隔をもって上下を横に交互にずらす千鳥植毛法にて植毛する位置8を示した片面図である。この植毛法を利用すると、鉛筆、ペン、筆等が、しっかりと固定収納できるので、自動車の車内のように、かなり激しく揺れる場所にて使用するペンスタンドに向く植毛法である。このほかの植毛法の図示説明は略すが、用いることも出来る。また、合成樹脂を型にて射出成形して得た、毛を有した物を、平板な物体7の片面ないし両面に、任意形状の立体的な容器の内側一方壁面に装着することもできる。毛は、下向きに適当な角度をもたせることもできる。毛の長さは、容器の蓋の一方の内壁面と毛先との間が緩やかに、そして、内壁面に沿うように、また、鉛筆、ペン、筆等の収納および出し入れに困り長さとする。以上のように、毛を設ける。

【0010】次は、容器9について説明する。容器9の形は具象抽象をとらず、また、一個ないし複数の蓋を設けた立体的な容器とする。

【0011】図5は、蓋10が一個の容器9に、略方形の平板な物体7の片面所要範囲に所要量の毛2を設けた片面ブラシ状の物を、前記蓋10の一方の内壁面に毛先が沿うように横に入れて装着するところの分解斜視図である。図6は、その使用状態を示す斜視図で、鉛筆5を収納しているところである。これの利用方法としては、挿入した鉛筆、ペン等は、毛と毛に挟まれて固定収納され、移動することがないので、太いペン、細いペンと並べておくと、いちいち探すことなく便利である。また、容器9を横に長くして、色鉛筆を青系統、赤系統、茶系統と並べておくと、たいへん使いやすい。以下、利用方法は同じである。

【0012】図7は、三個の蓋を有した容器9の一個の蓋10の中に、略方形の平板な物体7の片面所要範囲に所要量の毛2を設けた片面ブラシ状の物を、前記蓋10の一方の内壁面に毛先が沿うように横に入れて装着するところの分解斜視図である。他の蓋室11は、メモ用紙、サシ、印鑑等の事務用品を入れるのに用いる。図8は、その使用状態を示す斜視図で、鉛筆5、印鑑12、メモ用紙13を収納しているところである。

【0013】図9は、蓋10が一個の容器9の中に、略

4

方形の平板な物体7の両面所要範囲に所要量の毛2を設けた両面ブラシ状の物を、前記蓋10の対向する内壁の二面に、両面それぞれの毛先が沿うように、縦に入れて装着するところの分解斜視図である。図10は、その使用状態を示す斜視図で、両側に蓋14を収納している。

【0014】図11は、二個の蓋を有した容器9の一個の蓋10の中に、略方形の平板な物体7の両面所要範囲に所要量の毛2を設けた両面ブラシ状の物を、前記蓋10の対向する内壁の二面に、両面それぞれの毛先が沿うように、縦に入れて装着するところの分解斜視図である。他の蓋室11は、サシ等の事務用品入れである。図12は、その使用状態を示す斜視図で、鉛筆5、ペン6、サシ15を収納している。このように、容器の形状をいろいろなものに変えることができる。

【0015】図13は、容器の一部を断面図とした斜視図である。容器9の内側一方壁面16の所要範囲に所要量の毛2を設けたものである。

【0016】他の実施例として、本発明の背面に、マグネット、吸着盤、粘着シート等を付けることで、壁面に張り付けるペンスタンドとすることもできる。図14は、本発明の背面に、マグネット17を付けたところを示す背面斜視図である。

【0017】本発明は、以上のような構成で、これを使用するとき、鉛筆、ペン、筆等が、容器の端に間隔をもってきれいに並んでいるので、(イ)出し入れが容易。

(ロ) 濃い鉛筆、薄い鉛筆、太いペン、細いペン、色鉛筆の色分け等、順序良く並べておく事ができる。勉強、卒論、製図、イラスト等する人々には、用途に応じ、整理して並べておけば、あれこれ探すことなく能率良く勉強、仕事ができる。(ハ) 図鑑、書道用の筆なども、他が他の筆に接して汚すことがなくなり、また、必要なものを順序良く並べておくと、便利である。(ニ) ペンスタンドの背面に、マグネットまたは吸着盤、粘着シート等を付けておくことによって、窓辺のそばの壁面やスチール家具、ダイニングキッチン等の壁面や冷蔵庫の扉に貼着しておけば便利である。鉛筆等が毛と毛に挟まれているので、冷蔵庫の扉の開け閉めにもガチャガチャせず、重い物メモをするのに、特に宜室する。(ホ) 本発明の底面に、粘着シートをつけることで、室内用のペンスタンドとすることが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の使用状態を示す斜視図

【図2】本発明の分解斜視図

【図3】植毛法の一実施例を示す平板な物体の片面図

【図4】植毛法の一実施例を示す平板な物体の片面図

【図5】本発明の分解斜視図

【図6】本発明の使用状態を示す斜視図

【図7】本発明の分解斜視図

【図8】本発明の使用状態を示す斜視図

【図9】本発明の分解斜視図

(4)

特開平8-207490

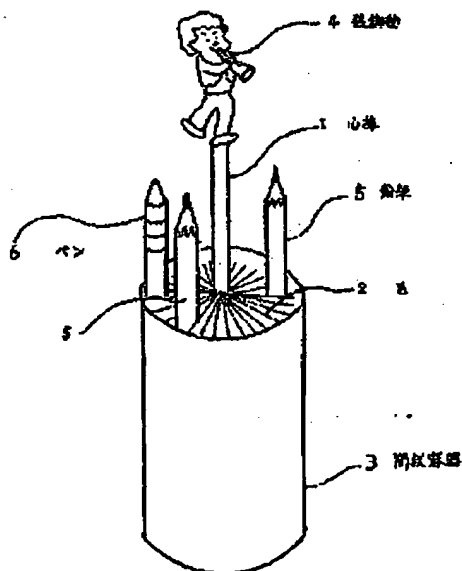
6

- 5
- 【図10】本発明の使用状態を示す斜視図
 【図11】本発明の分解斜視図
 【図12】本発明の使用状態を示す斜視図
 【図13】本発明の容器の一部を断面図とした斜視図
 【図14】本発明の背面にマグネットを付けたところの背面斜視図

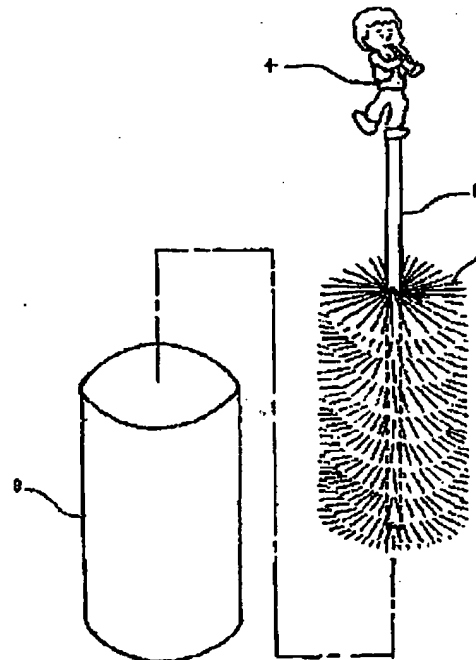
【符号の説明】

- | | | | |
|---|------|-------|--------|
| 1 | 心棒 | * 6 | ペン |
| 2 | 毛 | 7 | 平板な物体 |
| 3 | 筒状容器 | 8 | 植毛する位置 |
| 4 | 裝飾物 | 9 | 容器 |
| 5 | 鉛筆 | 10 | 空 |
| | | 11 | 空室 |
| | | 12 | 印盤 |
| | | 13 | メモ用紙 |
| | | 14 | 皿 |
| | | 10 15 | サン |
| | | 16 | 内側一方壁面 |
| | | * 17 | マグネット |

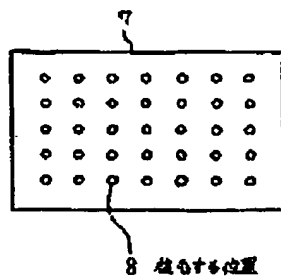
【図1】



【図2】



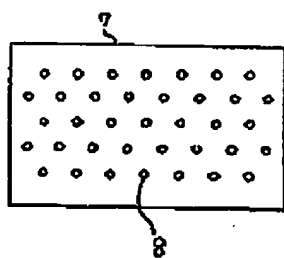
【図3】



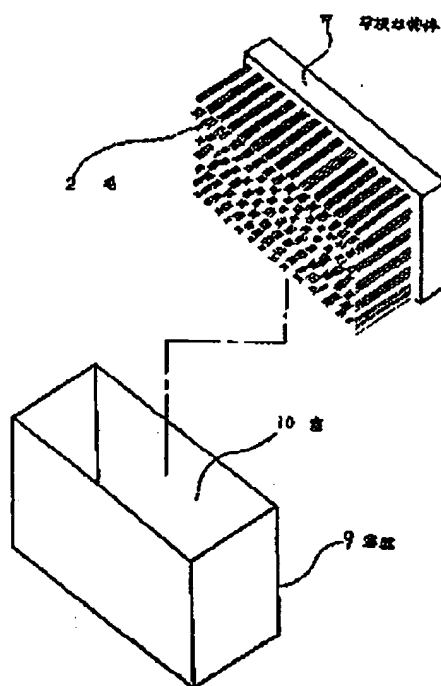
(5)

特開平8-207490

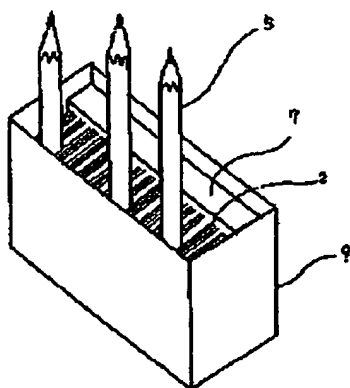
【図4】



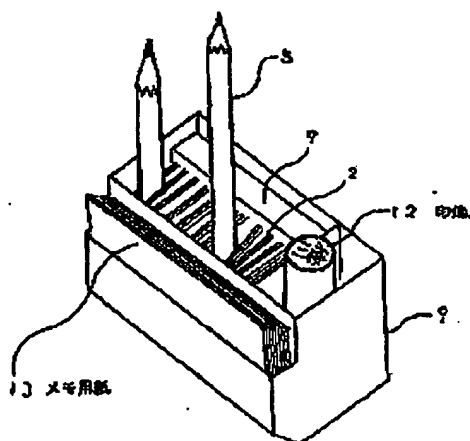
【図5】



【図6】



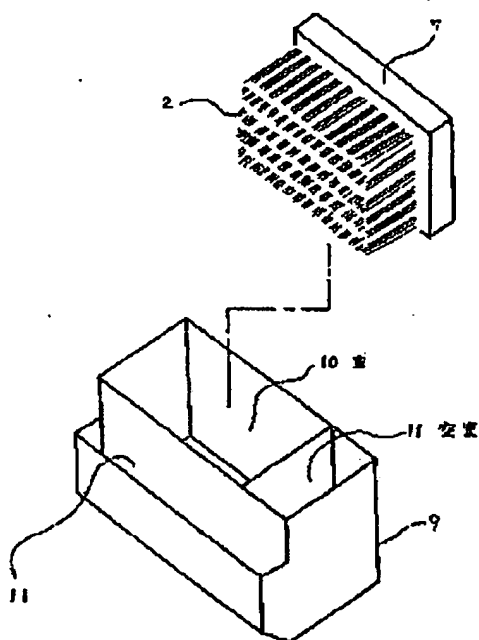
【図8】



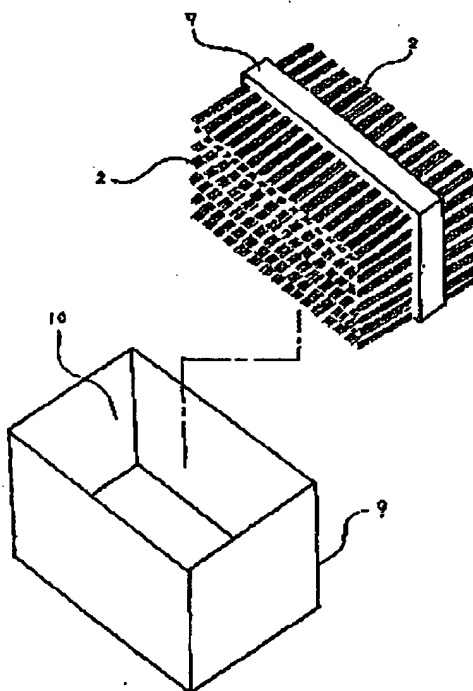
(6)

特開平8-207490

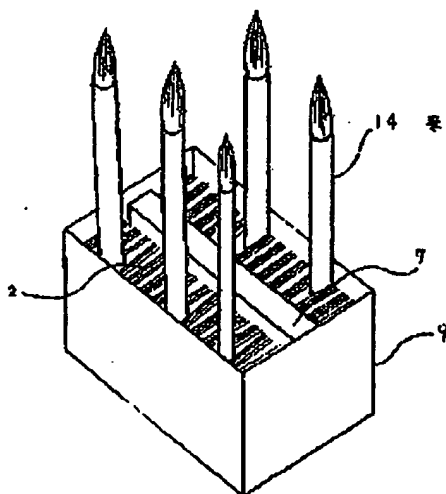
【図7】



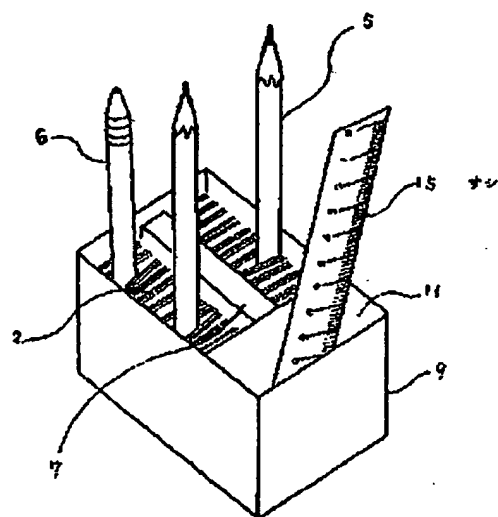
【図9】



【図10】



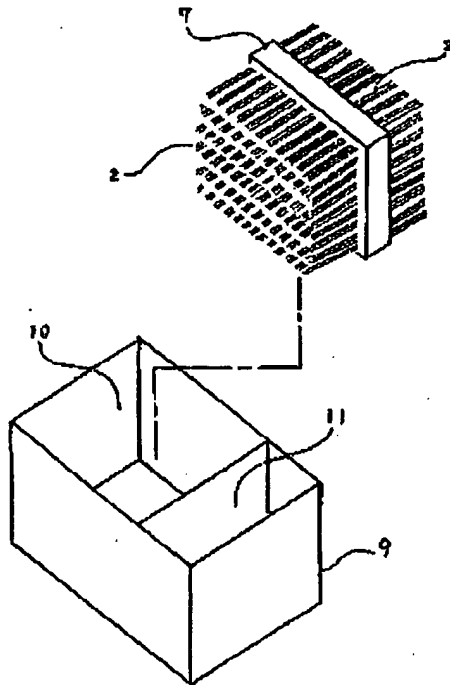
【図12】



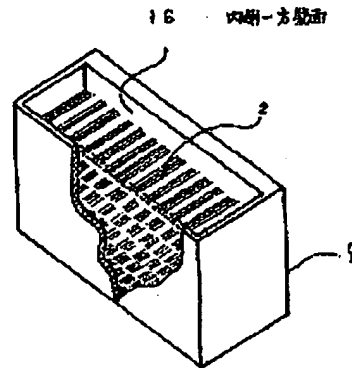
(7)

特開平8-207490

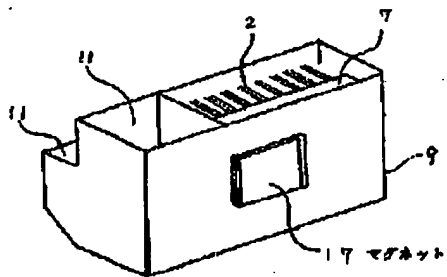
【図11】



【図13】



【図14】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.